

↓熱心に議論をかわ
したブリサミット



「世界一の品質を求めて」と題し、国内外から 280 人が参加して世界ブリサミットが開かれました。鹿児島大学の佐野雅昭教授のコーディネートのもと、生産者代表の久保章博氏、東町漁協の島田圭三課長、消費者代表の石神規子鹿児島市地域消費者ガイド、量販店からタイヨーの今村秀志氏、外食産業からすかいらーくの見崎福司氏、外国人として鹿児島大学のラシエダ・エルリンダ・クルーズ准教授（フィリピン）が参加し、それぞれの立場からプレゼンテーションとパネル討論を繰り広げました。サミットを通して、ブリを取り巻く人々の相互理解と消費者への安心安全なブリづくりを情報発信しました。

長島の産物を使った料理コンクールがあり、30 点が出品されました。

その後、おさかな祭りの前夜祭が開催され、さまざまな芸能発表を鑑賞しながら、料理コンクールに応募された料理やブリの刺身、タタキ、長島の魚介類を使いブリをあしらったちらし寿司など豪華な食事とともに、留学生やその受入家族ら約 150 人が参加して交流を深めました。



↑料理コンクールは
ブリサミットのパ
ネラーが審査



←漁業者や留学生ら
が参加したおさか
な祭りの前夜祭

開催日：10 月 31 日

会 場：長島町開発総合センター

おさかな祭りに 先 駆 け 開 催

世界ブリサミット
長島おさかな祭り前夜祭
鹿児島の物産と観光展

開催日：10 月 7 日～10 月 13 日

会 場：北九州市 黒崎井筒屋 6 階催場

北九州市で「鹿児島の物産と観光展」を長島町特集として実施しました。本町から東町漁協、北さつま漁協、サンレディー長島、小川醸造、長島研醸、児玉製菓、宮路農園、ぶりづくし舟盛亭が参加し、長島の特産品を販売しました。

オープニングは玄関口で鷹巢鉦踊りや鏡割りを行い、6 階催場では東町漁協養殖業者会によるブリの解体ショーが盛況で、予定より多い 4 回実施しました。昨年開かれた同様の物産展に比べ 112.6%の売上（井筒屋調べ）があり、本町全体では 400 万円を超える売上がありました。



↑長島研醸は島美
人や島娘、だん
だんなどを P R

←サンレディー長島
は加工品を販売